

ほつかいどう NIE 通信

Newspaper in Education



発行 北海道 NIE 推進協議会

〒 060-8711 札幌市中央区大通西 3 丁目 6 北海道新聞社内 ☎ 011-210-5802 FAX 011-210-5826

かつてはキヨスクで購入した新聞を車内で読んでいた人がたくさんいた。しかし今は、みんながスマートホンの画面を見つめている。何げなく目に入るスマートホンの画面にニュースなどがあることはまれで、大半はゲームだったり、音楽であったり、ツイッターだったりする。以前の車内は、新聞を読む

私は中学校の教員を定年退職後、学校現場と教育委員会をつなぐ仕事をしていく。それまでのマイカーや公宅からの通勤から、何十年ぶりかで電車通勤をしているが「時代は変わった！」と痛感していることがある。具体的に言えば、新聞を読んでいる人がいなくなってしまった、ということである。

うな文化があつたと思う。
仕事がら、学校訪問をする
ことが多いが、そこで不
思議なやりとりを聞いた。
「明日は習字の時間がある
から新聞紙を持ってきてく
ださいね」「先生、うちちは新



新聞に触れる文化継承

北広島市教委学校教育相談員 櫻井

朝、新聞受けから新聞を持って来て父に渡すのが私の役目だった。父は新聞を読みながら、赤鉛筆で切り抜きのしるしをつけたりする。そして仕事から帰つてくるとスクランブルアブツクに切り取った記事を貼り付

つた。今年の文科省「全国学力・学習状況調査」の主として知識・技能を活用する力を把握するB問題での正答率が低かった。

触れ、事実と意見を区別して読むことなども、新聞で学ぶよい。そんな新聞に触れる文化を、家庭が無理なら学校で継承し、次世代の家庭に復活させてみたいと考えている。

第4回 いっしょに読もう！新聞コン

日本新聞協会は、NIE月間に合わせて募集した「第4回いっしょに読もう！新聞コンクール」の入選作を発表した。3万点を超える応募があり、道内からは今回新設された最優秀賞と審査員特別賞に次ぐ「HAPPY NEWS賞」に、札幌市立手稲西小4年の土畠ちなみさんが選ばれた。

HN賞は札幌の土畠さん

私は中学校の教員を定年職後、学校現場と教育委員会をつなぐ仕事をしていました。それまでのマイカーや宅からの通勤から、何十歩りかで電車通勤をしてるが「時代は変わった！」痛感していることがあ

コンクールはNIE活動の一環。今年1月1日以降の新聞から小中高生に記事を読んでもらい、家族らと話し合った感想文を募集した。協会は今回から、読んで幸せな気分になつた新聞記事とその理

由を募集する「HAPPY NEWS」の学生部門を統合した上で、新たに「HAPPY NEWS賞」を設けた。応募総数は前回を691点上回る3万2774点で、道内分も455点増の

「何か別の紙じゃ駄目ですか?」小学校低学年の教室での、そんなやりとりを聞いて新聞をとつてない家庭の増加に改めて気付かされ、ふと自分の小学生時代のことを思い出した。

土畠さんは祖母の「美しい仕事する人たちだね」との意見を参考にしながら、夜間の大がかりな清掃・季節に合わせ北海道らしい花を飾り付けるなどの事実に感動する一方、ビルを気持ちよく使うことができるの

略)。
【獎賞】井下田晴香(千
歳市立高台小5年)、大野真
理子(立命館慶祥中1年)、
奥山津久海(同1年)、松賀
翔佑(同1年)、村井遙(同
1年)、加藤健太(同3年)
葉山碧里(同3年)

1345点に上つた。

は福島さんのような人たちが懸命に働いてくれているから、とまとめた。土畠さんは「やつこ」と思ふま

道NIE研

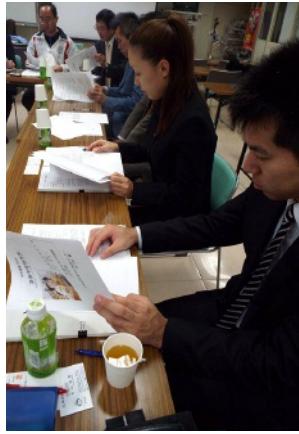
実践教諭が初の学習会

授業に新聞をどう活用するかを考える北海道NIE研究会(会長・豊島義明札幌市立定山渓中校長)の月例学習会「新聞夜塾」が11月1日、北海道新聞本社(同市中央区)で始まった。

毎月第1金曜日の午後6時半から開く予定で、今年9月から準備を進めていた。新聞の教材化研究のか、実践教諭同士の情報交換や後継者の育成が学習会の狙いだ。

初回のこの日は、同市内の実践教諭ら約20人が出席。豊島会長が「NIEによって学ぶ力、生きる力が育つ。子どもたちのためにわれわれ教員の力量を高めたい」とあいさつ後、一人

人が自己紹介した。当面はNIE実践校の担当教諭が執筆した「実践報告書」(北海道NIE推進協議会発刊)を使って実践事例



新聞夜塾の運営方針などを話し合う出席者

からは「独り善がりの内容にならないよう教材としてどの新聞記事を使うか複数の教員で決めた方がよい」との意見が出された。

同研究会では、NIE学

習の「指標」となる年間学習計画表の作成作業にも当たっている。副会長の上村尚生・同市立稻穂小校長は

NIE地区セミナー

当協議会主催のNIE

地区セミナーが10月19日に滝川市、11月22日には苦小牧市で、それぞれ開かれた。

「計画表があれば、NIE学習を学校ごとの教育課程

の中に位置付けることがで

えそうな記事を切り抜いて模造紙に張った後、狙いや

展開の仕方、評価の観点をまとめなどを記述した。

またNIEアドバイザーで赤平市立平岸小の柳谷直

明校長が「こうすればできる小学校でのNIE」のテ

ーマで講義し、滝川市立開

西中の原田陽子教諭と滝川

高の秋山純一教諭の2人が

滝川市役所で開かれた第10回滝川・空知セミナーに参加した。学習指導案づくりの講習では、北海道新聞朝刊の中から授業に使

られる。同時に新聞づ

くりには、制作を通して新聞の特徴をより深く理

解するという面もある。

もたちに読ませ、ワーケシ

トに「いつ」「どこで」と

新小が会場校。教育関係者

ら約20人が参加、はじめに

同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

ほか胆振管内安平町立早来

小の富樫忠浩教諭ら3人が

「言語活動の充実を目指し

た新聞活用」などのテーマ

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

稚内市立富磯小教諭 高橋 正一

今年のプロ野球日本シリーズ第6戦では、それまで無敗を続けていた楽天のエース・田中将大投手が敗れるという波乱があつた。翌日のスポーツ紙には2種類の見出しが躍つた。「マー君が負けた」「マー(君)に勝った」複数の新聞を読み比べることで、事実の取り上げ方の違いが見えてくる。こうした違いは他にもある。例えば、今夏のアイドルグループAKB48の「選抜総選挙」。グループの新曲を歌う16人をフ

で歌うグループの写真を大きく載せていた。紙面の中央に指原さんがくるように構成されている。一方のB紙。こちらは1位に選ばれ驚く指原さ

紙面を比較し「違い」理解

印象づけている」「B紙は、指原さんの驚きを強調している」

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞

によつて強調点が

違ひ、それが見出しや写

眞に表れるのである。

新聞活用について学習

指導要領、第5学年及び

だ上で、それを生かす場

で実践発表した。

●滝川

●苦小牧

第8回苦小牧・胆振日高セミナーは、苦小牧市立日高小が会場校。教育関係者ら約20人が参加、はじめに同校の加藤恭子教諭が3年

2組の児童37人と国語の公

開授業に臨んだ^②写真^②。

加藤教諭は、苦小牧に関

りいいのか」「どんな写真

を、どう配置するか」「記

事には、どんなことを書

くか」新聞をつくりながら、情報をどう伝

えるかを思考するようになるのだ。

づくりを通して、「メデ

イアは構成されたもので

ある」ということに気づかせていくことが、情報

の読み書き能力を高めて

いくことにつながると考

えている。

新聞の読み比べや新聞</

「はがき新聞」づくりに挑戦

来年3月に117年の校史にピリオドを打つNIE実践指定校の赤平市立平岸小（40人）で、家族などへの感謝の気持ちを伝える詩を「はがき新聞」の記事として活用する授業が行われた。5年生9人を対象にNIEアドバイザーでもある柳谷直明校長（52）が国語の単元に沿って指導した。「お礼」や「ありがとう」…。面と向かってはなかなか言えない本音を題字に託した、小さくて心温まる九つの新聞が完成した。

(葛西信雄・北海道新聞NIE推進センター委員)

記事は詩
感謝を伝える



平岸を含む3校がそれぞれ年度内に閉校し来年4月から新「茂尻小学校」として再出発する。これに先だって11月16日には3校合同閉校式と平岸小単独の「惜別の会」が開かれた。

5年生の国語の授業は、まだ余韻が残る19日と20日に行い、初日は詩の創作指導に2時間を充てた。

柳谷校長は日本言語技術

「おはよう」
この言葉から
一日が始まる
三校合同閉校式
体調がわるかつたそう
でも来てくれた。いつも
いつもありがとう
惜別の会
わたしたちの発表が
終わると拍手で見送つた
ありがとう。これかも
よろしくおねがい

所や宛名、郵便番号を記述するはがきの表書きの書式も指導した。児童たちは鉛筆ではがき新聞の記事になる自作の詩のほか、「ありがとう」「お礼」「佑香ガンバレ!」といった題字や見出しへ丁寧に書き込んだ。また、題字の周りを星のマークで装飾したり、余白にイラストを描いて新聞をグレードアップする子も。

「心を育て心をつなぐ新聞教育」を主題に、十勝管内の教員でつくる十勝新聞教育研究会（陰元正二会長）の第24回研究大会が11月28日、帯広市内の「とかちプラザ」で開かれた。関係者45人が参加。はじめに陰元会長が昨年8月開催の全国新聞教育研究大会北海道十勝・帯広大会を受け、同11月から始めた月例学習会などの取り組みを紹介し「新聞を教材として活用する研究をさらに深めたい」とあいさつした。

十勝新聞研・研究大会

また来賓の近藤政晴・十勝毎日新聞編集局長と小林亨・北海道新聞帶広支社報道部長が祝辞を寄せた。続いて会員3人が提言発表。

（ちの理解に）大きな役割を果たす
ことが分かった」と述べた。
最後にNIEアドバイザーで
帯広市立西陵中の野上泰宏教頭
が「NIEをどうすすめるか」の
テーマで講話。
新聞記事の中から学習指
導案の作成を試みている同研究会の月例学習
会について、「NIE実践こそが未
来志向型のESD（持続可能な社
会の担い手を育む教育）につなが
ると、とらえている」とまとめた。

小学低学年は写真が有効

A stack of Japanese calligraphy practice sheets, likely for children, featuring various brushwork styles and decorative borders. The sheets are filled with handwritten Japanese characters and some small illustrations.

自作の詩を記事にして
つくれた「はがき新聞」

実践校 リポート

教育学会理事で、国語はもつとも得意にしている教科。授業では、文体にリズム感を与える擬態語や同じ句を繰り返すリフレインなどの手法をかみ砕いて説明したほか、自分の思いをうまく相手に伝えるための分かりやすい文章の書き方も教えた。

金沢璃菜さんは母親にあててこんな詩をつくった。

1時間がかりで肉親や担任教諭、友人らに送るはがき新聞づくりに挑戦した。柳谷校長が「せつかく書いた詩を、その対象となる人に送る方法としてはがきを使います」と話した後、パソコンデータが大画面テレビに表示される機材で、題字や見出しの文字の大きさや位置、全体のレイアウトの仕方といった新聞づくりの基本のほか、宛先の住所や宛名、郵便番号を記述するはがきの表書きの書式も指導した。

児童たちは鉛筆ではがき新聞の記事になる自作の詩のほか、「ありがとうございます」「お礼」「佑香ガンバレ!」といった題字や見出しへ丁寧に書き込んだ。また、題字の周りを星のマークで装飾したり、余白にイラストを描いて新聞をグレードアップする子も。

はがき新聞には①読む相手を特定するため「伝えたいい」というコミュニケーション意欲を高めやすい②字数が少ないため書くことが苦手な子も新聞づくりを体験しやすいなどという利点があるが、今回の授業は新聞づくりに加え、言語活動の充実に欠かせない詩の創作も並行して取り入れたことに大きな意義がある。

柳谷校長は「はがき新聞を授業で取り上げること自体、道内ではまれなケース。子どもたちの反応もよくNIE活動の広がりに向け、有力な手段の一つになのでは」と話していた。

記事選び 指導案づくり

たいまつは

君たちに

<下>

—アドバイザーの試み—

講座を終えた菊池さん(右)と
福澤さん(中央)にかけより、
NIEの資料収集の方法を質問
する男子学生

晚秋の陽光はつるべ落と
しだ。気がつけば外はとつ
ぶりと暮れ、その分、教室
の蛍光灯が明るさを増して
いた。

10月18日、道教育大旭川
校で開かれた年内最後のN
IE講座は優に120分を

勝負の議論が大切。だが
個々の「教える」力は教壇
でしか身につかないことを
肝に銘じてほしい

もう一人の講師、現アド
バイザーの福澤秀さん(49)
〔旭川市立春光台中教頭〕
によると、新聞を教材とし
て活用し学習指導案にまで
仕上げる方法は大きく2種
類あるという。

一つはあらかじめ設定し
たテーマに沿って記事をフ
ィル。場合によっては図書館
などで関連する過去記事を集めて補強し、じ
っくりとまとめていく方
法。もう一つは「あつ、こ
れ使える」と直感した記事
で、授業のコンテともいえ
る「導入」「展開」「整理」
という流れを即座に作成し
てしまう手法だ。

この日は後者を活用した
指導案づくりを取り上げ、ま
ず全員に北海道新聞朝刊
から使えた記事を選ばせ、
自分なりに思考した指
導案をつくらせた。

教室には小中学校の全
教科の教科書が、出版社ご
とに平積みされており「迷
惑な客引きストップ」旭
川市が「3・6条例」の
記事を使つた班は、中学社
会科公民の教科書に沿い
ながら指導案をつくった。

道北一の繁華街、通称
3・6街で来夏施行を目指
す条例。この班は客と客
引きを生徒に演じさせ両
者の立場と心理を認識さ
せるロールプレイングを

実行する。

「例えば中学地理でアフ
リカを教えようにも教科
書では最近の激しい動き
は教え切れない。しかし
新聞を使えばこれを補う
ことが可能なのだ。教育

現場でノウハウを培つた

人の指導で、教員養成大学

の学生がそのノウハウを

えさせる内容にまとめた。

その中から収斂された1

点が班単位の指導案に決

まり、より完成度の高い内

容にするための討議を繰

り広げた。

は、毎朝30分間新聞を読

み、気になる記事を切り抜

いて保存している。「新聞

が優れた教材になり得る

ことが分かり、先生になれ

たら必ず授業で使いたい。

NIE講座を受講できて

本当にラッキーだった」と

笑顔を浮かべた。

「二人で行う授業は孤独

との鬭い。でも新聞によ

つて生徒との一体感が醸

成され何度助けられたこ

とが」と福澤さんが語る。

そのことに気づいてくれ

る人材がこの講座からき

つと出るはず」。祈るよ

う気持ちで、福澤さん

が母

の後輩たちを見つめた。

(葛西信雄)

◇「道内高校新聞ナウ」

は休みます。

（葛西信雄）

</